

五光精機 株式会社

精密加工技術で 五つの業種にチャレンジ

- 納期相談
- コスト相談
- メイドインジャパン
- 試作可
小ロット
- 量産対応



工場内では立型マシニングセンタなどが多数並ぶ

主な事業内容

精密機器向け
金属部品の設計・製造

主な取引先(納入先)

ヘガサスマシン製造、クボタ、京セラ、
住友重機械GB、島精機製作所など

主な製品

工業用マシンをはじめとする
各種機械向け精密金属部品

業務内容

**海外移管で脱マシンが
もたらした可能性**

五光精機の五光は、昭和36年に5人で創業したことに由来する。工業用マシン部品の粗加工から始まり、昭和51年に移転した現在地で、小型クランクシャフトの一貫生産体制を確立した。長年の経験と磨き上げてきた技能によって実現する高精度な金属部品は、取引先から高い評価を受け、一時は在阪マシンメーカーが資本参加。取引先の海外生産移管やリーマン・ショックを機に、精密金属部品の設計・製造技術を生かして、従来のアパレルに加え、産業機械やインフラ機械部品、医療関連、食品プラスチック金型の5分野で展開。五光に「多くの分野を技術で照らす」という理念を託している。

強み 研磨技術、大企業に 学んだカイゼンで磨き

山本伸幸社長は「精密加工技術とチャレンジ精神が強み」と自社を紹介する。工業用マシンで培った精密加工。特に精度が求められる針留は、縫製能力を左右する重要部品であり、研磨工程は、山本社長いわく「人間の手を加えないとできない」ものだ。材料調達

社長あいさつ



代表取締役社長
山本 伸幸さん

創業から60年。当社は、工業用マシン向けの精密部品で技術を培い、現在は五つの業種向けに事業領域を広げています。これからは、地球規模の環境問題にも自らの技術で貢献していきたい。未来に、オンリーワンとして持続できるようチャレンジを続けていきます。

主な保有設備

- マシニングセンタ
ヤマザキマザック製ほか 11台
- NC旋盤
ヤマザキマザック製ほか 12台
- 高精密ワイヤ放電加工機
M50B 西部電機製 1台
- CNC 精密成形平面研削盤
GS-65NCほか 黒田精工製 ほか 6台
- 三次元座標測定機
XYZAX SYA NEX9/10/6
東京精密製 1台



住 所／〒598-0071
泉佐野市
鶴原208

T E L／072-462-2285
F A X／072-463-4466

創 業／昭和36年5月
設 立／昭和36年5月
資本金／5,000万円
従業員／21名

環境 難加工材の精密加工で 最先端技術に貢献

山本社長は「企業を支えているのは人。社員を教育できる環境を整え、人の質を高めていきたい」と力を込める。他社では、面倒と思われるような案件にも挑戦すれば、価格競争とは違う土俵で戦うことができる。15年ほどかけて切り開いた新規4分野に続く、新たな分野として熱視線を送るのが半導体と水素、新エネルギーだ。特に注目するのが水素。山本社長は「水素に耐え得るような難加工材の加工に取り組む」と意欲を燃やす。実現のカギを握るのは「常になぜを問える人材」だ。加工技術で環境社会づくりに取り組むため、チャレンジ精神あふれる人材を必要としている。



量産から多品種少量まで対応可能



設備の製作・加工・検査まで完結



<https://www.gokoseiki.co.jp/>